

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020160

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	A		
単位施策	5	生涯教育施設・備品の有効活用	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	農村広場改修事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成28年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	施設整備		関係課	#N/A		
事業目標	カウント表示取替、照明灯安定器96基取替、備品等整備、照明灯改修、トイレ改修、クレイ舗装及びマウンド改修		ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業		
住民参加	有		関係例規・法令名	無		
住民協働			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	農村広場(野球場)の施設整備	カウント表示取替 照明灯安定器96基取替 備品等整備 ・観客席側階段設置 ・スコアボード塗装 ・バックネット金網修繕 ・放送設備更新 ・スコアボード及びチーム名ボード取替 ・本部席物入設置 照明灯改修 トイレ改修 クレイ舗装及びマウンド改修		トイレ改修(7,000千円) クレイ舗装及びマウンド改修(3,450千円)		
	事業費(千円)	27,469	8,889	0	18,580	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
地方債	0					
その他	0					
一般財源	27,469	8,889		18,580		
実績事業費	事業費(千円)	18,976	8,770	0	10,206	0
財源内訳						
国庫支出金	0					
道支出金	0					
地方債	0					
その他	0					
一般財源	18,976	8,770		10,206		
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		カウント表示取替 照明灯安定器96基取替 備品等整備	トイレ改修 クレイ舗装及びマウンド改修		
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-休止	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	カウント表示・照明安定器取替、備品等整備		トイレ改修、クレイ舗装及びマウンド改修	
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	99%	#DIV/0!	55%	#DIV/0!
	全体達成率	32%	32%	69%	69%	
	備考欄					

事業名	農村広場改修事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝 久

様式1  
平成27年度実施  
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農村広場(野球場)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	農村広場の施設整備	
【抱える課題やニーズは】	施設全般の老朽化による劣化箇所については、今後施設を使用していく上で改修が必要である。	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設改修による利用者の利便性向上を目指す。	① 農村広場改修工事	目標年度	平成27年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	施設の利便性を上げることによる、競技人口の増加、競技レベルの向上を目的とする。		目標値	1式
			実績値	1式
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成27年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	トイレ改修、クレイ舗装及びマウンド改修	指名競争入札による工事の実施。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	施設の老朽化により、利用に不都合が生じていることから、改修は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	改修により、利用者の利便性が向上し、衛生面を含めたスポーツ環境の整備が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	事業の実施にあたり市場価格を反映させ、維持経費に配慮した施工を行い、町負担額の抑制に努めています。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	町民が利用する公共体育施設の整備であることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり、施設改修を行うことができた。		

今後の展開方向  
(Action)

休止		
施設の老朽化が進行していることから、総合計画登載に向け、計画的な改修について方向性を見出すこととする。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止